

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和5年度 第1回寒川町環境審議会		
日 時	令和5年7月31日（月） 14時00分～16時10分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【出席委員】片谷会長、坂本副会長、中門委員、松久委員 中峰委員、河村委員、大野委員、齋藤委員、初鹿委員 鈴木委員、米山委員、平本委員、宇條委員、山蔦委員</p> <p>【欠席委員】市村委員</p> <p>【事務局】畑村副町長、原田環境経済部長、大山課長、 椎野主査、田中主任主事</p> <p>【傍聴者】なし</p>		
議 題	<p>(1) 令和4年度版 寒川町環境報告書（案）について</p> <p>(2) その他</p>		
決定事項			
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 副町長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 各委員自己紹介及び事務局自己紹介</p> <p>5 審議会の確認事項、取り決め事項について</p> <p>6 議事録承認委員の選出：中門委員、松久委員</p> <p>7 議 題</p> <p>（1）会長、副会長の選出 立候補なし。事務局案として片谷委員を会長、坂本委員を副会長として推薦し、各委員の了承を得て決定した。片谷会長、坂本副会長より就任のあいさつ。</p> <p>（2）令和4年度版 寒川町環境報告書（案）について ※新任委員がいることから環境報告書の構成や内容を確認してもらうため、各章ごとにポイントを絞って説明することとした。</p> <p><1. 寒川町環境基本計画の趣旨>P1～P2 <2. 第3次寒川町環境基本計画について>P3～P10 事務局より上記の章の概要を説明。</p>		

※質疑

(片谷会長) 基本目標 1 から 5 は維持する方向での理解でよいか。

(事務局) 基本的な目標は 1 ～ 5 のとおりだが、取り組みの評価を通して毎年度取り組み内容の見直し等を行う方針である。

(中門委員) 望ましい環境像は町民皆さんのテーマ。折角素晴らしいテーマなので、様々なところで広く周知できるように、PR の場を設けていただければと思う。

(事務局) 広報特集号などで伝える場面はあるが、町民の皆さまに伝える機会は提供できていないので、今後方法を検討していきたい。

(片谷会長) 次回に向けて検討し、提案いただきたいと思います。

<3. 令和 4 年度さむかわの環境の概要>P11～P18

事務局より基本目標の項目のうち主なものについて説明。

なお、P11 下表のグラフの R3 数値に誤りがあるためホームページで差替を行い、正誤表を掲載し対応予定。P15, P17 の各グラフの R4 数値は現在集計中のため次回お示しする。

※質疑

(片谷会長) 念のための確認だが、環境報告書の審議について、この会議においてどのようにスケジュールを考えているか。確定時期など。

(事務局) まず案を示しさせていただいて意見をいただく。その後、8 月 30 日の第 2 回審議会で修正内容の確認と、さらに修正がないかご意見をいただく。第 2 回審議会でご意見をいただいたものについては第 3 回目で再度審議を行う。ただし、第 2 回審議会で修正後の記載内容が大きく変わるものでない場合は、第 2 回までとし、以降は書面での修正のやりとりを行う予定である。概ね 10 月 11 月ごろに確定できればと思っている。

(米山委員) P7 の「3-2 再生可能エネルギーの利用を推進する」の R 元年度の数値が「100 箇所」となっている。達成目標に比べると大きく違うがこの理由は何か。

(事務局) 記載誤りで、正しくは「10 箇所」となる。

(米山委員) P8 の「4-1 ごみの減量化や資源化を推進する」の「一人 1 日当たり家庭系ごみ排出量」の基準年度実績が 612g で、その後達成目標が 1/4 くらい減っているが、何か減量の方法があって、これだけの量が減るのか教えてほしい。

(片谷会長) 達成目標の前期は何年度か。

(事務局) 令和 6 年度であり、水分の多い生ごみが家庭ごみの半分ほどを占めているが、この生ごみの排出を工夫して乾燥させたり生ご

み処理機の利用の促進で減量していくことになる。食品ロスの問題で食べきれない、買いすぎてしまう、このような部分も減らしていくことで目標値としている。

(片谷会長) 紙ごみでも有価物として束ねればごみの総量には入ってこない。

(事務局) ここでいう、ごみ排出量とは、資源も排出量も含むもの。

(片谷会長) 全国平均でおおよそ多いところで1人あたり700,800g、少ないところで500g。標準的なレベルから減らそうという目標設定、との理解でよいか。

(事務局) そのとおり。

(米山委員) 私も自宅で使わせてもらっているが、生ごみを出さないの
で、キエーロはぜひ使っていただきたい。宣伝してもらいたい。

(片谷会長) 毎年この報告書でキエーロのことが出てくる。かなりの普及率になっているので、町がもっと投資しても良いと感じるところ。キエーロをさらにアピールしてほしいとの意見でよいか。

(米山委員) そのとおり。

(齋藤委員) P10の公共施設への太陽光の導入とあるが、茅ヶ崎室田地区にある病院に用水路があり、お花が素晴らしく地域の人が管理している。100mおきに井戸があって、防災にも活かされているものと思う。井戸水などの利用を促進する方策は考えられないか。医療施設への導入事例として防災等への寄与も考えると、環境保全への活用など検討余地があると思う。

P9の記述で公園整備については都市計画課の計画との整合性はとっているのか。

(事務局) 町としては地下水利用についての全体的な計画はない。

(齋藤委員) 井戸の転用なども考えられないか。

(片谷会長) 井戸をあらかじめ指定し災害転用する事例は聞く。

(齋藤委員) 井戸の災害利用もそうだが、他の使い方、緑化を推進するなど関わり方の幅を広げてよいのではないかという意味。

(片谷会長) 井戸水だけの話というよりも植物を増やすという話にもつながるのかもしれない。井戸水の各利用方法について環境課の所管に収まるものだけでないと思うが、情報や可能性を確認、検討してもらいたい。

(事務局) この計画の策定にあたっては、みどりの基本計画との整合を図っている。

(山蔦委員) ごみの処理予算についてはコストの問題として指標を作らないとコストが本当に下がっているのかという視点が必要だと思う。上限を定めないと際限がなくなってしまい財政破綻の問題もはらんでくる。必要なものすべてを予算投入してしまうと赤字である。参考資料だとしてもしっかりデータを示すなどしてほしい。

(片谷会長) エネルギー消費に関しては、太陽光など、コストがかかる問題。相応の予算投入に対して相応の効果を見込むバランスを常に意識すべき。ごみ処理についても同様で、データで示すことは重要で、意識すべき事柄として捉えてほしいと思う。

(中門委員) ごみの減量は分水機などの利用なども考えられる。キエーロを置けない人への利用方法を示してもよいのではないか。

P11の小出川の水質の問題であるが、ただ協議をするという記述だけではなく、具体的な行動、水質検査など記述を盛り込んだ方がより伝わるのではないか。5年度データも示せるものは示しても良いと考える。

P18重点プロジェクトについてはこういう組織で行うという、見える組織があって初めて具体性が帯びると思う。明確化すると動きが見えてくるのではないか。

(片谷会長) 上流の市町村の発生源に関してはこちらが対策をするというのは困難である。あくまで協議が中心となる。中門委員の言うパケットでリン等のデータを集めて上流団体との協議をした方が有効であると考え。これは翌年度に5年度のデータを反映させる材料として集める方向で考えるものである。町内のデータ収集とあとは協議ということ。

(鈴木委員) P13の「2-1. 農地を保全し、農地の持つ環境保全機能を強化・活用する」について、水田環境の改善も含めてもらおうと考えてもらいたい。遊休農地が減っているというのは畑の遊休農地のことで、実際は水田の遊休農地も多くある状況で減っておらず、荒れ地になって稲作ができない土地が多い。災害対策の意味でも水田は貴重な財産であるので、稲作が続けられる農家を取りまく環境を改善する状況を加えてもらえると良いと感じる。水を張られてという記述だが実際はそうではないと感じる。水田は多いが、実際は所有者本人が耕作できることが難しく委託することがほとんど。水田に水が張られているとのことで問題がないようにも見えるが実際は水田に関する農家の課題が多い。この記述が気になった。

(片谷会長) 遊休農地のデータは田と畑に分かれているのか。

(事務局) 農政課がデータの所管であるため確認を行う。

(片谷会長) 鈴木委員の話では畑も大事だが、田の状況も課題が多いとのご指摘。農政課に確認し状況確認のうえこの点を整理してもらいたい。

<4. 第3次寒川町環境基本計画に示した取り組みの評価(令和4年度)
> (1) 基本目標の環境指標達成状況と取り組みに対する評価と総括

(評価方法について) P19~20

事務局より環境指標の達成状況に基づく評価、取り組みの評価について、どのような考えに基づき評価しているか説明を行った。

※質疑

(片谷会長) 集計中の項目があるため、ご意見はいただくが、議論は次回にして良いと考えるが事務局はどうか。

(事務局) ご意見については本日やメール等でも受付けて今後議論としたい。

(松久委員) P13の保存樹林・樹木については、個人資産のため町としては裁量権がないと思う。この点の評価をどのように整理するか問題である。

P14 アライグマなどの外来生物への対応やナラ枯れへの対策について示す必要があると思う。中央公園や越の山、自然観察の森でもナラ枯れが発生し倒木も発生している。ナラ枯れの発生状況について調べているのか。

※ナラ枯れとは(松久委員説明)：

ナラの木を好んで害虫が幹に入って中心を食べてしまい、最終的に枯れてしまう。クヌギなどそれ以外の木、公園の樹木も相当の被害が発生するもの。

(片谷会長) ナラ枯れの発生についての対策所管はどこか。情報共有は。

(事務局) 農政課。報告書の記述は農政課との共有内容である。

(松久委員) 町の所管としては、農政課が個人所有の樹林、都市計画課は公園の樹木。そうすると各担当課で対応してもナラ枯れの根本的な解決にはつながらない。横の連携が大事。

(片谷会長) 樹木は所管もあるが温暖化の対策と考えれば樹木も環境課で関連があるといえる。協議など取り組み方法を考える必要がある。この報告書では、対策が十分に考えられているものの記載自体が少ないと思うので、所管課と協議して書き足していく必要があると思う。個人所有物について町で具体策を書くことは難しいと思うが、今後の対策の記述は必要だと思う。

(片谷会長) P44 重点プロジェクトについての記述も少ないと思うがどうか。

(事務局) P44の記載を増やすというよりもP45の具体的な取り組みにて詳細を記述する構成としている。

(片谷会長) 今後だが、この報告書が送られてくるタイミングからしてもすべての内容に目を通している委員は少ないと思う。第2回審議会に向けては、持ち帰って内容を確認していただき、第2回の前に事務局あてに事前の意見を出していただければ良いと思

	<p>うが、どうか。先ほどの農政課の記述など、加える内容をできる範囲で対応していただければと思う。</p> <p>(事務局) 事前意見を取りまとめてお答えさせていただければ会議がスムーズになるので、そのようにお受けしたい。次回は事前意見を通して第2回審議会の準備を進めたい。</p> <p>(山蔦委員) 重点プロジェクトは環境課の対応として画期的で、環境課なりの考え方を述べる重要な部分と感じる。報告書の肝に感じるので、力を入れて目標と評価をしっかりと書いてもらった方が町民にも理解しやすい。</p> <p>(片谷会長) 事務局として全面改定は難しいと思うが、書き足すことがあれば書き足して対応いただきたい。</p> <p>(中門委員) 乾燥してごみを減量する考え方は普及しており、キエーロの活用のみでなく他の活用できるもの、屋内型で安いものなど発信しても良いと思う。</p> <p style="padding-left: 40px;">P17「4-2. ごみの適正管理・適正処理を推進する」について、ごみは費用も大きく町への影響もある部分。試験運用をただけでなく、ごみの収集回数などメリットやデメリットなどしっかりしたデータを記載して具体化されたい。</p> <p>(片谷会長) 今回ご意見を多くいただいたが、可能な限りご意見を反映していただきたい。</p> <p>(2)その他 ※連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回の審議会日程について、8/30(水)の午後2時から役場東分庁舎第1会議室で開催予定。資料については可能な限り1週間前にお届けする。 ・本議題に対する意見については8/8(火)までに環境課まで提出。 ・資料送付方法。メール送付を希望する委員は事務局までお声がけを。 <p>6 閉会 坂本副会長あいさつ</p> <p>以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 審議会の確認事項・取り決め事項について ・ 令和4年度版寒川町環境報告書 (案)
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>中門吉松 松久省司</p> <p>令和5年8月31日(木) 確定</p>